よしかわ「自民・みらい」議員団報

第4号
平成25年1月10日

発行：自民・みらい　発行責任者：松﨑　誠
TEL.048-972-6035　FAX.048-972-6037
メール：jimin-mirai@hotmail.co.jp

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましてはご家族おそろいで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、「自民・みらい」にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。私たちは市民の皆様に信頼されることを常に心がけ活動してまいりました。

昨年を振り返ってみますと3月には新駅「吉川美南駅」が開業し、また、さくら通り（334号線）武蔵野線アンダーパスが開通し、都市軸道路整備が進み、三郷インターまでの所要時間が短縮され利便性が更に向上しました。しかし、近年では近隣の大型商業施設の出店や県道の開通、人口の増加など以前とは状況が変わっており、慢性的な渋滞を引き起こしています。計画通り着工された場合、更に渋滞の悪化が危惧されます。

従って平成23年3月議会で採択された地元4自治会の請願書要望とともに再度、車両通行可能な仮橋の設置を要望していきます。

吉川市第5次総合振興計画がスタート。また、安心して子育てしやすい取り組みとして民間保育所2園が開園され、埼玉県内初の取り組みとして他の保育園への送迎サービスもスタートしました。結果、待機児童解消につながるなど大きな成果を上げています。

そして、新年度4月には、美南小学校が複合施設を併設した内容で開校されます。また、震災への備えから防災拠点としての機能を含む新庁舎建設総合基本計画の策定等、「自民・みらい」は、市政全般の様々な課題に取り組んでまいります。本年も皆様の意見をお伺いしながら活動してまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご多幸ご繁栄をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

吉川市議会
自民・みらい一同

吉川橋架替えの進捗

平成24年12月現在の用地買収率は越谷市側98％、吉川市側56％。工事用道路や施工ヤードなどを確保するため、越谷市側より用地買収を先行してきました。計画では歩行者や自転車は通行可能であるが、車両は通行止めにして工事を行うため、交通渋滞は免れず、ぜひ仮橋を設置して欲しいと、平成21年3月25日、自民党議員団9名で「吉川橋架け替え時の仮橋の設置」の要望書を県に提出。

当時の県の担当部長から「他市の状況から見て大変難しい。土地を確保して頂ければ対処できるかもしれないが、そうなると本橋の工事が遅くなり、両市の負担増になる」と説明がありました。しかし、近年では近隣の大型商業施設の出店や県道の開通、人口の増加など以前とは状況が変わっており、慢性的な渋滞を引き起こしています。計画通り着工された場合、更に渋滞の悪化が危惧されます。

従って平成23年3月議会で採択された地元4自治会の請願書要望とともに再度、車両通行可能な仮橋の設置を要望していきます。

12月定例会開催される

第5回12月定例議会は、11月30日から12月14日まで15日間で開催され、市長から上程された専決処分事項の承認1件、条例8件、市町村総合事務組合の規約変更1件、財産の無償譲渡1件、人事案件2件、補正予算5件、委員会提出議案2件、農業委員会委員の推薦1件、計21件すべて原案通り可決しました。

主な内容として

▼財産の無償譲渡では、JRと締結した当初の協定の中で、吉川美南駅のための用地として、鉄道運輸機構から市に寄付された土地をJRに無償譲渡する内容のものです。

▼人事案件では、教育委員に山田陽一氏を再任、固定資産評価審査委員の関根剛氏が12月20日をもって任期満了となるため、新たに茂木伸一氏を選任しました。

▼補正予算では、一般会計予算に2億2609万3千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ211億2484万6千円とするものです。今回の12月補正では、**関小学校プール改修工事費**（総額8915万円）として予算3千万円を計上し、平成25年2月に工事を発注し、夏までに工事が完了する内容のもので「自民・みらい」が強く要望し実施されるものです。また、固定資産税の課税誤りに関しては、市街化調整区域5518件の内259件が対象となるもので市税還付金1億6588万1千円が計上されました。

また、一般質問では「自民・みらい」から3名の議員が行いました。議員提出意見書3件、第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会東京招致に関する決議もそれぞれ採択されました。今後も皆様のご支援を宜しくお願いします。

東京五輪招致のポスター

第4分団消防機器置き場建設

消防団第4分団消防機械器具置き場が老朽化し、かねて建設要望が求められておりましたが、よこまちの杜公園前に移転建設されることになりました。

住民の安全安心確保や、災害時に消防団の果たす役割は大きいものです。この建設を通じて地域防災活動の充実が図られることは大変喜ばしい事です。

「自民・みらい」提出の意見書・決議すべて可決

■**「地方議会の意見書に対する関係行政庁等の誠実処理の義務付けを求める意見書」**

■**「第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会」東京招致に関する決議**

※「自民・みらい」は第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会東京招致を応援しています。

自民・みらい議員団

松澤　正
議長
☎982-8172

加藤克明
団広報
議会広報副委員長
☎983-5069

中村喜一
団広報
総務水道副委員長
☎982-3777

安田真也
団会計
文教福祉委員長
☎954-5593

山﨑勝他
監査委員
建設生活委員
☎982-3307

野口　博
文教福祉委員
議会広報委員
☎982-8677

中嶋通治
副団長
議会運営委員長
☎982-5770

松﨑　誠
団　長
総務水道委員
☎991-0022

12月定例会 一般質問

点字ブロックの段差解消を　加藤克明

問 吉川駅前や周辺の歩道は、平板ブロックや視聴覚障害者のための点字ブロックに段差があり、早期の段差解消が必要と考えるが。

答 構造的に経年劣化等により、段差やがたつきなどが生じる事もある。支障のある箇所は12月末までに補修していく。

問 駅からハイキングについて。さらに吉川市の魅力をアピールするコース作りをしてみては。

答 参加者は市外や県外から訪れ、観光客の増加や商工業の活性化に繋がるイベントである。そこで、新たな発見や期待を感じる事ができるなど、リピーターを増やす工夫が必要であると考えている。具体的には、桜が満開の時期に桜の名所を巡るコースや、野菜作りに接することができるコース、あるいは真夏の八坂祭りを見学するコースなども面白いのではないか。観光資源が多いとは言えない当市においては、観光客を呼び込むための施設整備や、特産物の開発、掘り起こしなどを中長期的に取り組むことが必要と考え、今後も魅力あるコース作りのため、JRや商工会と連携し、積極的に取り組んでいく。

問 中川河川改修に伴う多目的広場について、その後の計画は。

答 以前より広場として整備要望を行っている。他にも階段やスロープ、歩道やグリーンベルトの設置、注意喚起の看板、防犯灯の設置等の要望は把握している。現在、堤防工事が行われ、完成後の旧堤防の撤去や河道の掘削、河川敷の利用は整備の進捗状況を見て行う。

地域コミュニティ施策について　中村喜一

問 多様なコミュニティの課題について市長の見解は。

答 時代の進展とともに、相互扶助が希薄化している。地域コミュニティの中で住民の様々な交流機会の拡大が求められていると考える。

問 地域コミュニティ対策のあり方について市長の考えは。

答 退職を迎えた世代が地域に戻りつつある。地域に不慣れな側面もあるが、豊かな経験やノウハウを地域社会に生かすことが必要で、参加を促すためのセミナーや講座の開催を検討していく。

問 コミュニティ振興のため支援分野を拡大すべき。

答 地域コミュニティの振興、活性化には新たな取り組みが必要と考え、自治連合会と連携してアンケート調査を随時実施している。その分析を参考に新たな支援分野を検討していく。

問 地域の伝統まつりなどに対する支援のあり方は。

答 担い手不足の解消や地域の伝統行事の活性化のためには、地域のコミュニティ活動の活性化が大切と考える。

市の自治会交付金や活動補助金を活用して欲しい。

未来を育む児童福祉の推進　中嶋通治

問 「家庭訪問型子育て支援」活動で、6歳以下の乳幼児がいる家庭に、定められた研修を受けたボランティアが週1、2回2時間程度、無償で自宅を訪問し、子育ての悩みを受け止め、子供と遊んだり、共に家事をし、子育ての悩みを聞き、親の自信の回復等を目指す事業ですが、当市においてはどうお考えか。

答 新しい型の子育て支援策として、有効であると認識しています。地域の人と人との温かい繋がりの中から、親が安定を取り戻し、子育てを原因とした孤立や児童虐待の予防につながり、平成25年度から取り組んでまいります。

問 近隣の自治会で高齢者の皆さんと若いお母さん方がお茶を飲みながら団欒をされ、その間高齢者の方々が幼児と共に遊んでいました。今後このような方策が子育て支援に重要であり、また、育成が必要であると考えますが、見解は。「ふれあいサロン」は市内で何団体あるのか、高齢者と子育て中のお母さん方と交流している団体は。

答 「ふれあいサロン」は12団体、うち2団体で交流を実施している。高齢者の方には社会参画の場として、大変有益であり、他の団体にも周知し、多くの団体で世代を超えた交流事業を実施できるよう支援する。

商工会役員と意見交換

昨年11月19日、商工会館会議室において商工会役員の皆様と「自民・みらい」の意見交換会を行いました。

主な内容として、事業主の高齢化や後継者不足、消費動向が市外に流れる等の市内商工業を取り巻く様々な問題が浮き彫りになりました。商業部門においては吉川マルシェを開催。また、一店逸品事業においては、さらに魅力ある内容にする努力をされております。

工業部門においては、受注金額の減少により、厳しい状況であること。建設部門においては「住宅なんでも相談会」を開催し、耐震補強の重要性を理解していただくとともに、地元の安心できる業者として住宅の悩みを解決するべく努力している取り組み等をお伺いしました。

私たち「自民・みらい」としましても、地域商工業活性化に向けて地域の声を聞きながら議会を通じて政策提案を行ってまいります。

歯科口腔議連を開催

現在まで全体会、幹事会と複数回開催され、行政担当者や歯科医師会の先生方にお越しいただき研修会を開催しています。直近では「自民・みらい」の原案を基に各会派の修正案を持ち寄り、条文について討議する段階になりました。

しかしながら、一部から反対が出たことから、12月議会終了後、再度、修正案を討議いたします。市民の歯の健康を守る為の条例制定に向け引き続き努力してまいります。

新設の駅前保育所を視察

10月3日（水）「自民・みらい」は、昨年4月に開園し話題となっているコビープリスクールよしかわステーションの行政視察を行いました。

コビープリスクールは、吉川駅南口から徒歩3分の至近距離にあり0歳児から5歳児までのすべての年齢児を保育する私立認可保育園です。ガラス張りの園舎は、50メートルの廊下に面し、ライブラリーや和室などが並び、子どもと子ども、子どもと保育者のボーダーレスな交流が自然と生まれる開放的な施設となっていました。とりわけ埼玉県内で、初めての取り組みとなる、市内のすべての認可保育園へ園児を送迎する新しいサービスを行っています。これにより駅から離れた保育園に預けている保護者も、児童の送り迎えを駅前で行うことができます。この結果、市内の保育園の園児数が均衡化し待機児童の解消にも一定の効果が見込まれる画期的なサービスといえます。

安心安全の施策等の視察

11月12日、京都市にて自転車安心安全条例、中学校複合施設化の視察を行いました。京都市では自転車マナー問題への市民意識の高まりから、議員提案として条例化されました。このことは単に安心安全を守る為の条例の側面だけでなく、議員が主体的に条例を作成する政策立案能力が問われます。会派としても現在、歯科口腔保健推進条例の作成を目指しておりますので、条例策定までのプロセスも勉強になりました。

中学校の複合施設化では中学校、保育所、デイサービスセンター、地域包括センター、オフィススペース、3つの商業店舗を配置した市立御池中学校を視察しました。同校はPFI方式を導入し、民間の知恵によって建設、管理されております。今後の中学校建設や建て替えの参考になりました。

翌日には京都府亀岡市にて「セーフコミュニティー事業」と議会改革についての視察をおこないました。セーフコミュニティとは、事故やケガは偶然におこるのではなく予防することができるという考えのもと、地域住民や行政などが連携・協働して誰もが安全で安心に暮らすことができるまちづくりを進める取り組みを言います。

吉川市でも安心安全パトロールや地域の見守り、自治会活動が積極的に行われていますが、違いはデータに基づいた検証作業を行う点です。また、議会改革については議会改革ランキング第10位（日本経済新聞社産業地域研究所調べ）の中身について視察をさせていただきました。2日間の視察で得たものは多く、今後の地域の実情等を勘案しながら提案して参ります。